

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	安来地区中心市街地の安心まちづくり（防災・安全）						重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）		交付対象	安来市				
計画の目標								

安来市では、防災対策における重点的な取り組みとして、災害時に速やかに避難できる地域ごとに避難場所等を設定することとしていますが、安来地区の中心市街地は、公共交通、行政サービス、商業・業務機能などの都市機能が集中する区域であるとともに、古い家屋が密集し、また木造建築が多い区域でもあります。このため、震災による家屋の倒壊や大規模な火災が発生した場合の緊急避難場所の整備が必要となっています。安来地区の緊急避難場所が配置されていない区域のうち、特に防災上脆弱な中心市街地エリアにおいて、地域防災計画で指定避難所に位置付けられている十神小学校の周囲に防災公園の整備や市単独事業として防災公園に隣接する通学路に接続した市道川尻3号線の歩道を整備することで、防災性と子供の安全性を総合的に向上させます。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・中心市街地エリアに緊急避難場所として防災公園を整備することで、災害時における一時避難者の収容人員の強化を行います。
- ・近隣小学校児童の通学途中の緊急避難経路として市道川尻3号線の歩道を整備することで、災害時に防災公園へ避難できる児童数の向上を図ります。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)									
中心市街地エリアの緊急避難場所収容人数の拡大 中心市街地エリアの一時的な避難所の収容拡大人数（収容人数は 1人/2㎡で積算）	0人	—	1050人									
災害時に防災公園へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数の向上 災害時に防災公園へ避難できる通学途中の近隣小学校児童数/当該通学路を利用する児童数	0%	—	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	291.0百万円	A	291.0百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 都市防災・公園事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
1-A-1	防災	一般	安来市	直接	安来市	都市防災総合推進事業（地区公共施設等整備）	防災公園の整備（1箇所 0.28ha）	安来市						265.3	—	—	
合計													265.3	—	—		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考													

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月30日

計画の名称	安来地区中心市街地の安心まちづくり（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）	交付対象	安来市		
計画の目標	<p>安来市では、防災対策における重点的な取り組みとして、災害時に速やかに避難できるよう地域ごとに避難場所等を設定することとしていますが、安来地区の中心市街地は、公共交通、行政サービス、商業・業務機能などの都市機能が集中する区域であるとともに、古い家屋が密集し、また木造建築が多い区域でもあります。このため、震災による家屋の倒壊や大規模な火災が発生した場合の緊急避難場所の整備が必要となっています。</p> <p>安来地区の緊急避難場所が配置されていない区域のうち、特に防災上脆弱な中心市街地エリアにおいて、地域防災計画で指定避難所に位置付けられている十神小学校の周囲に防災公園の整備や市単独事業として防災公園に隣接する通学路に接続した市道川尻3号線の歩道を整備することで、防災性と子供の安全性を総合的に向上させます。</p>				

交付金の執行状況

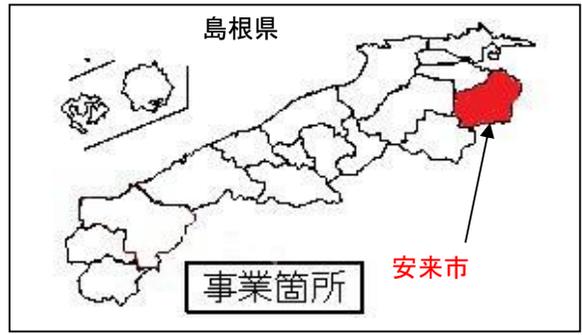
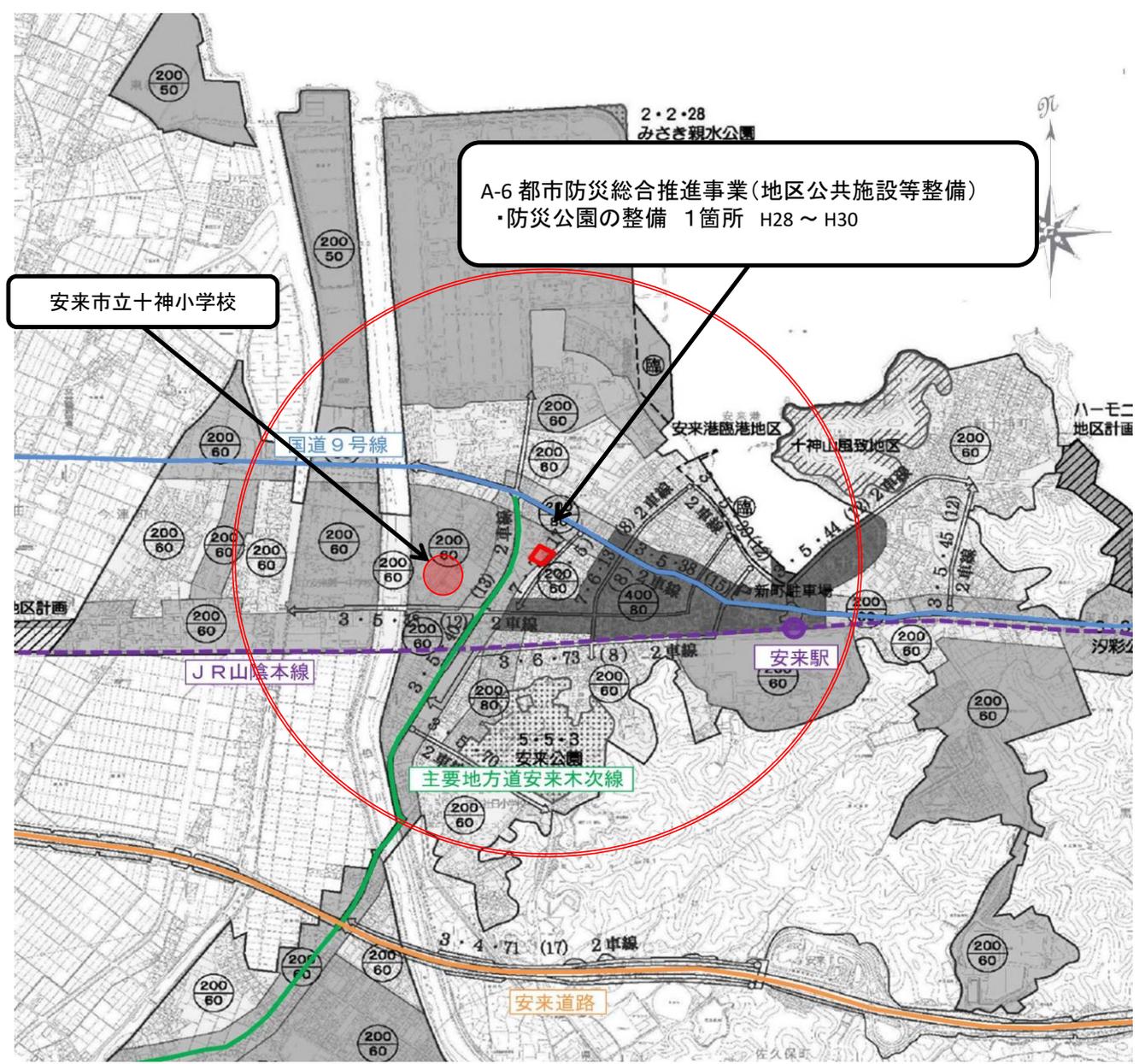
（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	9.1	7.6			
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0			
交付額 (c=a+b)	9.1	7.6			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0			
支払済額 (e)	9.1	7.1			
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0			
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.5			
未契約繰越+不用率(%) (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	6.6%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成30年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	安来地区中心市街地の安心まちづくり (防災・安全)	
計画の期間	平成28年度 ~ 平成30年度 (3年間)	交付対象 島根県、安来市、安来町



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 安来地区中心市街地の安心まちづくり(防災・安全)

都道府県・市町村名: 安来市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○